

令和 4 年度
下水道に関する事故発生状況について
(令和 4 年 5 月末時点)

1. 人身事故（総括）
2. 維持管理作業事故
3. 工事事故
4. 水質事故等

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

1.人身事故(総括)

(令和4年5月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	5月までの集計	年度合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)											0 (0)	0 (1)
	2. 負傷事故	0 (4)	4 (1)											4 (5)	4 (38)
	合計	0 (4)	4 (1)											4 (5)	4 (39)
	累計	0 (4)	4 (5)											—	—
工事	1. 死亡事故	0 (0)	2 (0)											2 (0)	2 (6)
	2. 負傷事故	4 (8)	4 (5)											8 (13)	8 (83)
	合計	4 (8)	6 (5)											10 (13)	10 (89)
	累計	4 (8)	10 (13)											—	—
合計	1. 死亡事故	0 (0)	2 (0)											2 (0)	2 (7)
	2. 負傷事故	4 (12)	8 (6)											12 (18)	12 (121)
	合計	4 (12)	10 (6)											14 (18)	14 (128)
	累計	4 (12)	14 (18)											—	—

※下段()書きは前年度(令和3年度)の値
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.維持管理作業事故 (令和4年5月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	0 (1)	2 (0)											2 (1)
	2. 政令市	0 (2)	2 (0)											2 (2)
	3. 一般市	0 (0)	0 (1)											0 (1)
	4. 町村	0 (1)	0 (0)											0 (1)
	5. その他	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	合計	0 (4)	4 (1)											4 (5)
発生施設	1. 管渠	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	2. マンホール	0 (1)	0 (0)											0 (1)
	3. 処理場	0 (2)	0 (1)											0 (3)
	4. ポンプ場	0 (0)	3 (0)											3 (0)
	5. その他	0 (1)	1 (0)											1 (1)
	合計	0 (4)	4 (1)											4 (5)
事故類型	死亡事故	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	負傷事故	0 (4)	4 (1)											4 (5)
	1. 墜落・転落	0 (1)	2 (1)											2 (2)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (1)	1 (0)											1 (1)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	5. 転倒	0 (1)	0 (0)											0 (1)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	12. 公衆災害	0 (0)	1 (0)											1 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	14. その他	0 (1)	0 (0)											0 (1)
	合計	0 (4)	4 (1)											4 (5)

(単位:人)

被災者数	1. 自治体職員	0 (1)	0 (0)											0 (1)
	①死亡	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	②負傷	0 (1)	0 (0)											0 (1)
	2. 委託先業者	0 (3)	3 (1)											3 (4)
	①死亡	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	②負傷	0 (3)	3 (1)											3 (4)
	3. 第三者	0 (0)	1 (0)											1 (0)
	①死亡	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	②負傷	0 (0)	1 (0)											1 (0)
	合計	0 (4)	4 (1)											4 (5)
	累計	0 (4)	4 (5)											- -

※()書きは、前年度(令和3年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

維持管理作業事故情報データベース

令和4年5月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者			
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況
5月										
1	R4.5.10	1. 都道府県	ポンプ場	①墜落・転落	ポンプ場の巡回点検において、点検者が汚水ポンプの操作盤を点検し、次の点検場所へ移ろうとしたところ、操作盤の側方では基礎部から地面までの高さが約1.2mあったため、側方から地面に下りた際、かかとを骨折した。	操作盤周辺にバリケート柵を設置し、動線を固定することで踏外しを防止するとともに、操作盤の台座などに蛍光色テープを貼り、注意喚起とともに安全対策を図った。	委託先業者	48	男	右足かかと骨折
2	R4.5.13	2. 政令市	その他	⑫公衆災害	道路上の集水ますの鉄蓋に、子供が乗って遊んでいたところ、集水ますが古く、鉄蓋の設置状況が不安定であったことから転倒し、右手首を捻挫した。	即日、不安定となっていた蓋を交換した。	第三者	9	男	右手首捻挫
3	R4.5.18	1. 都道府県	ポンプ場	①墜落・転落	3名でマンホール内における汚水圧送管の点検作業を実施しており、一人目が作業灯を持たずに安全ブロックを使用して入坑し、中段スラブに降りた。前日からの引き続き作業であったため、中段スラブから圧送管の位置する下段に降りるための開口部のグレーチング蓋を解放したままにしていた。二人目の入坑準備のため、安全ブロックを外し坑外の作業員から坑内へ作業灯を下ろしてもらったが、点灯していなかったため、暗い中でスイッチを入れようとしていたところバランスを崩し、中段スラブの開口部より下段までの高さ約2.7mを転落し、圧送管上に臀部を打ち右腸骨稜を骨折した。	・暗所作業時には、必ずヘッドライト等の照明器具の着用、使用の徹底。 ・開口部における蓋は、作業終了時には必ず閉めるとともに、開口部付近壁に転落注意の注意喚起表示を設置。 ・作業責任者による現場状況、作業手順の把握の徹底。 ・現場状況、作業手順を踏まえて作成した安全作業手順書の作業員への共有、遵守の徹底。 ・作業員間における危険箇所や作業時における声掛けの徹底。 ・KYミーティングによる危険予知活動の実施。	委託先業者	58	男	右腸骨稜骨折
4	R4.5.23	2. 政令市	ポンプ場	②はさまれ・巻き込まれ	ポンプ場点検時において、雨水ポンプ点検の際、燃料用重油をヘッドタンクから燃料タンクへ戻す作業を行っていたところ、床面にある手動弁操作のため、グレーチング蓋を開け弁の操作後、作業員4名でグレーチング蓋を戻す際に1名が右手中指を挟み、右手中指関節の靱帯を損傷した。	・緊急安全ミーティングを実施し、安全教育を再徹底した。 ・グレーチング蓋を閉める際に指を挟まないよう、一度、工具により抑えをしたうえで、作業員同士で声掛けを行い、安全を確保し蓋を閉めることとした。	委託先業者	19	男	右手中指副靱帯損傷

 : 死亡事故  : 負傷事故

3.工事事故 (令和4年5月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	2 (0)	0 (1)											2 (1)
	2. 政令市	3 (6)	3 (3)											6 (9)
	3. 一般市	2 (4)	5 (2)											7 (6)
	4. 町村	1 (0)	0 (0)											1 (0)
	5. その他	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	合計	8 (10)	8 (6)											16 (16)
工事分類	1. 管きょ開削	4 (6)	6 (2)											10 (8)
	2. 管きょ推進	1 (1)	1 (2)											2 (3)
	3. 管きょシールド	1 (0)	0 (0)											1 (0)
	4. 管きょその他	2 (2)	0 (1)											2 (3)
	5. 処ボ土木建築	0 (1)	1 (1)											1 (2)
	6. 処ボ機械電気	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	7. 処ボその他	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	合計	8 (10)	8 (6)											16 (16)
事故類型	死亡事故	0 (0)	2 (0)											2 (0)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	1 (0)											1 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	12-1. 公衆災害(人身)	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	14. その他	0 (0)	1 (0)											1 (0)
	負傷事故	4 (8)	4 (5)											8 (13)
	1. 墜落・転落	1 (0)	0 (0)											1 (0)
	2. はさまれ・巻き込まれ	1 (3)	2 (4)											3 (7)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (1)	0 (0)											0 (1)
	5. 転倒	0 (1)	0 (1)											0 (2)
	6. 激突	0 (1)	0 (0)											0 (1)
	7. 土砂崩壊	0 (1)	2 (0)											2 (1)
	8. 交通事故	1 (0)	0 (0)											1 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	12-1. 公衆災害(人身)	1 (0)	0 (0)											1 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	14. その他	0 (1)	0 (0)											0 (1)
	物損事故	4 (2)	2 (1)											6 (3)
	12-2. 公衆災害(物損)	4 (2)	2 (1)											6 (3)
	合計	8 (10)	8 (6)											16 (16)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数	1. 死亡	0 (0)	2 (0)											2 (0)
	2. 負傷	4 (8)	4 (5)											8 (13)
	合計	4 (8)	6 (5)											10 (13)
	累計	4 (8)	10 (13)											- -

※()書きは、前年度(令和3年度)の値
※国土交通省へ報告のあった事故について集計

工事事故情報データベース

令和4年5月末時点

NO.	発生年月日							被災者		
		事業主体	工事分類	従事作業	事故概要	発生場所	事故類型	年齢	性別	被害状況
5月										
1	R4.5.6	3.一般市	1.管きょ開削	仮舗装工	アスファルト舗装の路盤工を施工中、現場代理人がロードローラーの運転手に次の工程で使用するアスファルト合材を取りにいくように指示したところ、運転手はエンジンをかけたまま降車して現場を離れ、それを目撃した現場代理人が地上からエンジンを切ろうとした際、体の一部が操作レバーに誤って触れたことでロードローラーが前進し、前方で路盤面の清掃作業をしていた作業員がひかれてその下敷きとなり、死亡した。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	74	男	死亡
2	R4.5.9	2.政令市	1.管きょ開削	後片付け	バックホウで資材をダンプトラックに積み込む際に、補助作業員をバックホウとダンプトラックの間に配置していたところ、補助作業員が死角にいたため、バックホウのオペレーターは補助作業員を認識しないまま移動した際、バックホウのキャタピラーで補助作業員の左足首を踏んでしまい、被災した。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	49	男	左足首骨折
3	R4.5.11	3.一般市	2.管きょ推進	竣工検査	竣工検査における現場確認において、事前に酸素濃度等の計測がされていない中、検査職員がマンホール内に立ち入った。直後に、地上にいた職員がマンホール内で倒れている検査職員を確認し、消防署へ通報を行った。現場に到着した救急隊員が検査職員を救出、救急搬送し、病院にて治療が行われたものの、5月17日(火)に死亡が確認された。	現場内	14.その他	56	男	死亡
4	R4.5.20	3.一般市	5.処ボ土木建築	解体作業	外部足場解体作業時に、地上で鋼製布板(W500*L1800)を4枚持って運搬をしていた。資材仮置き場所に積む際に、資材の重量を支えきれずに、勢いがついてしまったことで、資材に左手小指が挟まれ、被災した。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	23	男	左手小指 開放骨折(全治1カ月程度休業)
5	R4.5.23	2.政令市	1.管きょ開削	掘削作業	既設取付管を撤去するにあたり、近接するガス管の埋設位置を手掘りにて確認した後、バックホウにて掘削を進めようとしたところ、ガス管埋設位置未確認のスパンまで掘削してしまい、φ30のガス引込管を損傷させた。	現場内	12-2.公衆災害(物損)	-	-	ガス管損傷
6	R4.5.26	3.一般市	1.管きょ開削	管布設作業	下水道本管の布設にあたり、ガス引込管と土留材(水圧サポート)がバックホウオペレータの視線から見て重なってしまい、死角となったことから、バケットがガス管に引っかかり破損させた。	現場内	12-2.公衆災害(物損)	-	-	ガス管損傷
7	R4.5.31	3.一般市	1.管きょ開削	管布設作業	下水道本管布設工事のため、バックホウで深さ1.9m掘削し、先行して管材を掘削部に下ろした後、作業員2名が掘削部内で土留め設置作業を行っていたところ、地山の崩落が発生し、崩落した土砂により管材が押し出され側方に移動したため、作業員1名が管材に挟まれ被災した。	現場内	7.土砂崩壊	23	男	左脛骨骨折
8	R4.5.31	2.政令市	1.管きょ開削	管布設作業	マンホールを設置するために、地面を1.5m程度の深さまで掘削したところ、土砂が崩落し、掘削箇所にはいた作業員の腰部にその土砂が当たり、被災した。	現場内	7.土砂崩壊	75	男	骨盤の骨折



:死亡事故



:負傷事故



:物損事故

4.水質事故等 (令和4年5月末時点)

[総括]

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
水質事故等 合計	3 (2)	5 (3)											8 (5)
累計	3 (2)	8 (5)											- -

[内訳]

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (0)											2 (0)
	2. 政令市	2 (0)	3 (2)										5 (2)
	3. 一般市	0 (2)	1 (1)										1 (3)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	5. その他	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	合計	3 (2)	5 (3)										8 (5)
発生施設	1. 管渠	1 (2)	1 (1)										2 (3)
	2. マンホール	0 (0)	1 (0)										1 (0)
	3. 処理場	1 (0)	1 (0)										2 (0)
	4. ポンプ場	1 (0)	2 (1)										3 (1)
	5. その他	0 (0)	0 (1)										0 (1)
	合計	3 (2)	5 (3)										8 (5)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	3 (0)	1 (1)										4 (1)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	0 (2)	1 (1)										1 (3)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	0 (0)	3 (1)										3 (1)
	合計	3 (2)	5 (3)										8 (5)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	1 (0)	1 (0)										2 (0)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (0)	1 (0)										1 (0)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (1)	0 (0)										0 (1)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	2 (1)	1 (0)										3 (1)
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (1)										0 (1)
	水質事故 合計	3 (2)	3 (1)										6 (3)
	その他案件	0 (0)	2 (2)										2 (2)
	水質事故等 合計	3 (2)	5 (3)										8 (5)
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	② 耐用年数以内	1 (1)	0 (2)										1 (3)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)										0 (0)
	合計	1 (1)	0 (2)										1 (3)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※()書きは、前年度(令和3年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

令和4年5月末時点

NO.	発生年月日	事故情報				状況分類		事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応	
5月									
1	R4.5.10	2.政令市	ポンプ場	水質事故	③悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	-	-	抽水所の電気設備工事において、工事のため暫定的に設けた電気設備でポンプの運用を行っていたところ、電気設備の不具合により、ポンプが誤作動し汚水が河川へ流した。	緊急対応として、ポンプが手動モード時に自動運転しないよう、電気設備に応急措置を行い、放流先河川の状況確認を行った。 今後の再発防止策を検討中。
2	R4.5.27	1.都道府県	マンホール	その他案件	—	-	-	国道走行中の軽自動車が、追い越し車線上に位置する蓋の取れたマンホールに乗り上げ、左側フロントタイヤがバンプした。 なお、運転手に怪我はなかった。	・緊急対応として、即日復旧工事を実施した。 ・マンホール蓋が取れた原因を調査中。 ・今後の再発防止策を検討中。
3	R4.5.27	3.一般市	ポンプ場	その他案件	—	-	-	ポンプ場の配電盤から出火した。	・電気メーターが火元と想定されるため、電力会社と連携し原因調査をするとともに再発防止策を検討中。
4	R4.5.30	2.政令市	処理場	水質事故	①悪質下水の流入（放流水質が基準に不適合）	-	-	放流水から排水基準値を超過するチオベンカルブ（原因元は農業と想定）が検出された。	処理場施設に影響がないことを確認し、対象農業を取り扱う事業者に関き取りによる原因調査を実施するとともに、再発防止策として農業の取り扱いに注意するよう注意喚起を行った。
5	R4.5.31	2.政令市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	-	-	河川伏せ越し部において、汚水管渠が詰まり溢れた汚水が、約100m上流の用途不明管より河川へ流出した。	・応急措置として、伏せ越し部の予備配管に流路を切り替えて通水を図った。 ・既設管路の詰まりなど原因を調査中。 ・今後の再発防止策を検討中。